

公開シンポジウム

公害の歴史から 持続可能な社会を考える

日程：2024年3月2日 13時～15時半（12時半開場）

場所：野口遵記念館 フリースペースA

写真：亜ヒ酸を製造した窯の跡(松尾鉱山) <https://www.asia-arsenic.jp/starting-point/toroku-matsuo>

志賀信夫「企業主義的開発と公害、貧困」

県立広島大学保健福祉学部人間福祉学コース 准教授

13:00～ あいさつ、趣旨説明

13:10～ 第1報告

日田剛「公害に関わる労働者の問題」

九州保健福祉大学社会福祉学部臨床福祉学科 准教授

13:25～ 第2報告

伊藤泰三「公害問題から考える地域福祉の課題」

県立広島大学保健福祉学部人間福祉学コース 講師

13:40～ 第3報告

鎌谷勇宏「公害が引き起こした分断とその流れ」

大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科 准教授

13:55～ 第4報告

14:30～ パネルディスカッション 孔栄鍾（司会）

佛教大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授

お問い合わせ：志賀信夫 (nobu.shiga.hyuga@gmail.com)

※本シンポジウムは「総研いのちとくらし」の研究助成を活用しています。